

## 香川県の雇用情勢（令和8年3月分）

- 3月の有効求人倍率（季調値） **1.40倍**（前月差 0.00ポイント）
- 正社員の有効求人倍率（原数値） **1.20倍**（前年同月差 ▲0.04ポイント）
- 雇用情勢判断「求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。」
- 令和7年度平均の有効求人倍率（原数値） **1.44倍**（前年度差 ▲0.02ポイント）

## 1 求人倍率

- 有効求人倍率(季調値)は、前月と同水準。176か月連続で1倍台(全国第7位、全国1.18倍)
- 正社員の有効求人倍率(原数値)は、前年同月より0.04ポイント低下(全国第11位、全国0.99倍)

年月	7年10月	11月	12月	8年1月	2月	3月
有効求人倍率	1.42	1.39	1.41	1.43	1.40	1.40
正社員有効求人倍率	1.22	1.22	1.26	1.24	1.20	1.20

(注) 1. 有効求人倍率(季調値)の季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。  
2. なお、有効求人倍率(季調値)の令和7年12月以前の数値は新季節指数により改定されている。

## 2 雇用情勢判断

## ○ 判断を据え置き

変更した月	変更した内容	判断方向
令和7年11月	求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	下方修正
令和6年5月	求人が求職を上回って推移しており、緩やかに持ち直しているものの、今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	上方修正
令和5年10月	求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	下方修正
令和4年9月	持ち直している。	据え置き

## 3 新規求人

- 新規求人(原数値)は、7,884人(前年同月比 1.0%減) 2か月連続の減少  
増加した主な産業は、医療、福祉、複合サービス事業、生活関連サービス業、娯楽業等  
減少した主な産業は、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、製造業等

年月	7年10月	11月	12月	8年1月	2月	3月
前年同月比(%)	▲1.5	▲13.2	6.3	4.5	▲15.1	▲1.0

## 4 新規求職

- 新規求職(原数値)は、3,726人(前年同月比 5.9%増) 2か月ぶりの増加

年月	7年10月	11月	12月	8年1月	2月	3月
前年同月比(%)	▲0.1	▲2.7	7.6	1.8	▲1.5	5.9

※令和3年9月以降の数値より、オンライン上で求職登録した求職者が含まれている。